



第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

ロータリーは
機会の扉を開く

令和2年7月6日(月) 第1回 通算第1565回例会

会長 黒澤 信之
幹事 佐藤 慶行

クラブ奉仕委員会
委員長

高橋 智弘

会報・雑誌・広報・
IT小委員会委員長

根本 いずみ

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第1回例会 点鐘12:30

◇開会点鐘 黒澤 信之 会長

◇国家静聴・ロータリーソング「奉仕の理想」

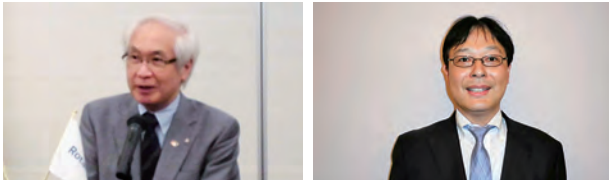
◇「四つのテスト」唱和

職業奉仕委員会 渡辺 敬藏 委員長

◇お客様並びにビジター紹介

RI第2530地区直前ガバナー 芳賀 裕様

新会員 (有)リスクマネジメントハウス代表取締役
宮崎 秀剛様



◇入会式

宮崎秀剛様 ご紹介 黒澤 信之 会長

7月誕生祝い *今年度、誕生祝の記念品は市松柄扇子です。



・宮崎秀剛会員 昭和48年7月16日生

◇理事・役員・委員会配属発表

◇会長あいさつ 黒澤 信之 会長

冒頭、お悔やみを申し上げます。

すでに皆様にもご案内のこととは存じますが、当クラブ 会長エレクト高橋智弘会員のお母さまが、去る7月2日に逝去されました。急なお別れだったと聞いております。謹んでお悔やみ申し上げますと共に、心からご冥福をお祈りいたしたいとおもいます。

あらためまして、皆さんこんにちは。新年度第一回目から、宮崎秀剛さんを新しい仲間としてお迎えし、多くの会員の皆様のご出席をいただいた中でスタートが切れますことをとてもうれしく思います。

本年度 歴史と伝統ある福島西ロータリークラブの会長を仰せつかりました、黒澤信之でございます。創立以来、第37代目になるかとおもいます。昭和45年生まれの今年で50歳、ロータリー歴5年目の若輩でございますが、先輩たちが築き上げてきたクラブ

の名を汚さぬよう、佐藤慶行幹事のパスト会長としての経験と的確な助言をいただきながらベストを尽くしてまいりますのでよろしくお願いいたします。

先週、九州地方では記録的な豪雨に見舞われました。鹿児島、熊本の各地で災害が発生し、すでに20名以上の方がお亡くなりになっています。そして今なお雨が降り続いており復旧どころか被害の拡大が心配されている状況とのことでした。一日も早い復旧をお祈りしたいと思います。また、新型コロナウイルスの感染拡大も納まる気配がありません。東京では連日のように100人を超える人の新規感染が確認されており、昨日の世界中の一日の感染者は、21万人を超えたそうです。アフターコロナ、ウィズコロナなどとコロナウイルスを受け入れながらの生活様式や経済活動をしてゆくことを求められていますが、もう少し模索が必要のようです。幸い、福島では新たな流行には至っておりませんがくれぐれも怠ることなく感染防止に努めていただくことをお願いいたしたいと存じます。

就任早々、先週木曜日に、福島ロータリークラブの第1回例会にメイクアップをしてみました。廣澤ガバナー補佐をはじめ、県北第一分区の他の会長ともどもでの参加でしたが、会場を埋める85名ものロータリアンの前で挨拶をする福島クラブの五阿弥会長や進行役を務める佐藤美奈子幹事からはピリピリとした緊張感が感じられ、終始、厳粛な雰囲気を感じられる例会でした。これだけの会員のクラブにいれば、自分に会長が回ってくることもなかったらうにな・・・などと、不心得なことは考えず、福島西クラブの代表として胸を張って挨拶してまいりましたのでご報告します。後ほど、幹事とともに所信表明のお時間をいただいておりますので以上で会長挨拶を終わらせていただきます。

◇幹事報告

佐藤 慶行 幹事



○例会変更のお知らせ

・市内クラブ例会変更はございません。

○その他のお知らせ

・7/8(水)福島中央RC例会はガバナー公式訪問となります。

- ・7/9(木)福島RC、福島21RCの例会はガバナー公式訪問となります。
- ・7/11(土)地区クラブ研修リーダーセミナーが開催されます。当クラブより佐藤宗弘会員が出席致します。
- ・次週7/13(月)当クラブの例会は、ガバナー公式訪問になります。皆様のご出席をお願いいたします。
- ・本日午後6時30分より峰亀にて7月理事会を開催致します。理事役員の皆様はよろしくお願ひ致します。
- ・7月ロータリーレートは107円となりますのでお知らせ致します。

委員会報告

◇出席・スマイリングBOX小委員会 相澤 隆委員



○芳賀 裕直前ガバナー＝前年度は、相澤会長はじめ福島西RCの皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。今年度、黒澤会長の下、楽しいクラブ活動をされますことを祈念いたします。

○黒澤信之会長＝第37代の会長を仰せつかりました。不行届きな点多々あるかと思いますが、宜しくお願いいたします。

○佐藤慶行幹事＝本日2020-2021年度 黒澤会長年度がスタート致しました。会長指針のもと会員皆様のご協力を頂き、より良い年度となります様、幹事として務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。

○久米允彦会員＝黒澤丸の船出を祝して、コロナに負けない元気な活動を期待しています。

○齋藤武二会員＝黒澤年度お世話になります。

○梅津一匡会員＝ごぶさたしております。またよろしくお願ひします。

○宮崎秀剛会員＝本年度より入会させていただく事になりました。今後とも宜しくお願いします。

○小澤陽子事務局＝第1回例会おめでとうございます。2020-21年度、福島西RCの活動が大いに盛り上がりますよう、微力ながらお手伝いさせていただきます。よろしくお願い致します。

○相澤 隆会員＝新年度を迎え、黒澤会長、佐藤幹事の活躍を期待いたします。

———黒澤会長、佐藤幹事の船出を祝して———

- 大平謹一郎会員
- 佐藤卓立会員
- 佐藤宗弘会員
- 高梨哲男会員
- 西形健吉会員
- 野尻榮一会員
- 渡辺敬藏会員
- 根本いづみ会員

本日のスマイリングBOX集計17件 41,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇会報・雑誌・広報・IT小委員会 根本いづみ委員
*「友」7月号紹介

横組P7 RI会長メッセージ(ホルガー・クナーク)
今は楽観的になるにはふさわしい時ではないと思
われるかもしれませんが、今こそ楽観的になるべ



きなのです。ロータリーが誕生するはるか前から、人類は進歩と忍耐が試されるような重大な危機に立ち向かってきました。ロータリーができてからも、数多くの悲劇に直面してきましたが、人類はそれも乗り越えてきました。そして、ロータリーは常に世界を癒すために尽力しています。

どんな危機も、再生と成長の機会になります。「ロータリーは機会の扉を開く」という会長テーマは私が長年にわたって信条としてきた言葉です。ロータリーは入会したクラブが全てではなく、そのクラブを通して終わりなき機会を生み出すことが良いことと信じています。ロータリーの奉仕活動は、その大小を問わず、支援を必要としている人々のために機会を生み出します。・(中略)・世界はこれまで以上にロータリーを必要としています。今後何世代にもわたってロータリーが機会の扉を開いていくようにできるかどうか、それは私たち次第です。とメッセージは締めくくられています。

P8~19 RI会長紹介

ホルガー氏はRI会長としては型破りな存在で、RI初のドイツ人会長で、そこに至るまでの経緯も変わっていて、歴代の会長の多くとは違い、ロータリーの役職を一つずつ上り詰めていった訳ではなく、ロータリーでは青少年交換プログラムでの活躍で知られているそうです。記事ではホルガー夫妻の生い立ちから普段の暮らし方などプライベートな話の内容からご夫妻の考え方や人柄が伺われます。「ロータリーは若くあり続けなければならない」「どんなに一生懸命に働いても、同時に楽しまなくては」といったホルガー会長の哲学にとっても共感できます。また、所属クラブとクラブ仲間をととても大切にする姿勢は会長職を務められても変わらないという思いが語られています。

P22 ガバナーの横顔(2020-21年度 全地区ガバナーの紹介)

第2530地区では郡山RCの石黒秀司ガバナーが紹介されています。

P54-55 ちょっと一息つける記事です。

連載「大人の着こなし図鑑」から今月のテーマはワイシャツです。

夏のクールビズスタイルも定着した昨今、注目度が高まっているワイシャツについて、現代にふさわしく、伝統的にも正しいシャツの選び方について紹介されています。当クラブはオシャレでダンディな方たちばかりなので、これを読んで私も参考にしていきたいと思ひます。

P66-67 「RIの委員に応募しませんか」

8つの委員会が委員に応募する資格のある候補者を探しています。

P73 「国際大会へのカウントダウン」

2021年国際大会が開催される台北の魅力が紹介されています。また、同じページに「ロータリー財団管理委員長からのメッセージ」も掲載されていますのでご覧ください。

縦組 P4~8 SPEECH「夢持ち続け日々精進」

(株)AandLive 代表取締役 高田 明さん

テレビショッピングで一躍有名となったジャパネットタカタの前社長。古希を迎えた今もあと50年生きる予定で日々目標をつくって活動されています。人間はポジティブに、前向きに考えていけば道は開ける、というのが人生航路の指針だそうです。「自分が伝えた」と「相手に伝わった」は全く別物、ここに気付かず伝えたつもりでいれば、絶対にジャパネットタカタは発展しなかった。といった高田社長ならではの説得力のある体験談が語られています。

◇本日のプログラム———会長・幹事スピーチ

○幹事スピーチ 佐藤 慶行 幹事

今年度(2020-2021 黒澤会長年度)クラブ幹事をお引き受けすることになりました佐藤でございます。新年度スタートにあたりご挨拶をさせていただきます。

振り返りますと、2月頃からでしたでしょうか？新型コロナウイルス(WHOでは、COVID-19と正式名称)の発生、拡大、そして緊急事態宣言・・・それに伴う外出自粛要請等、我々がこれまでには経験したことのない生活環境の急激な変化の中、福島西ロータリークラブ新年度・・・黒澤信之会長年度が本日スタート致しました。

そしてまた今年度は、日本のロータリークラブが100周年を迎えます記念すべき年度ともなりました。日本で最初のロータリークラブは、1920(大正9)年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟承認されたそうです。

日本のロータリーですが、100年を迎え、組織のあり方や運営が時代への対応とともに変わってきていると思っております。

しかしながら、ロータリーの基本的な精神は変わることはないと思っておりますが、自分にも言えることではあります。現在のロータリー活動、それを考えますと、個々のロータリアンが、ロータリーの目的と言われるものを忘れることなく、自らを律し、社会に奉仕する意識を醸成してゆかなければと思っております。自らの周りだけでなく様々な外的要因によって政治や経済が大きく影響を受ける昨今ですが、福島西ロータリークラブ(黒澤会長年度)はロータリーとしての存在意義、また役割を忘れることなくその使命を果たして行くことを黒澤会長の補佐を行い実践したいと考えています。

今年度、ホルガー・クナークRI会長は「ロータリーは機会の扉を開く」のテーマを掲げ、第2530地区石

黒ガバナーは地区運営方針の中で、「Participate and Enjoy ROTARY」日本語直訳にしますと、「ロータリーに参加して楽しむ」とロータリアンに呼びかけを行い、そしてこの呼びかけのもと5つの地区重点活動目標を掲げられておられます。この5つの地区重点活動目標の、内容・詳細につきましては、それぞれガバナー月信にてご確認頂きたいと思っております。

そしてまた、今年度の西クラブ黒澤会長は、「今こそ集い、語らい、楽しもう!! Enjoy 福島西 Rotary」のクラブスローガンを掲げられました。これはRI会長、地区ガバナーの考え・思い・方針をわかりやすく表現しロータリー活動の基本姿勢であるのではないかと思います。

また、黒澤会長はクラブスローガンのもと、5つのクラブ活動目標を示されています。

1. 例会の活性化と出席率の向上
2. クラブ力増強
3. 地域社会への社会奉仕の実践と認知度の向上
4. ロータリー財団・米山記念奨学会への理解と協力
5. ロータリー賞へのチャレンジ

私は、ロータリー活動においてはそのすべてが基本事項であると考えますが、実際はその活動・行動が疎かになっているように思われます。当たり前のことを当たり前にやることの大切さを会員皆様でもう一度考え、今年度の黒澤会長の活動目標を実践し会員皆様にとって有意義なロータリー活動年度となりますよう黒澤信之会長年度の幹事としての責務を担ってまいりたいと考えております。

改めましてクラブ会員皆様のお一人お一人のクラブ活動に対しますご理解とご協力を切にお願い申し上げます。今年度(2020-2021 黒澤信之会長年度)クラブ幹事のご挨拶とさせていただきます。

どうぞ1年間よろしくお願い申し上げます。

○会長スピーチ 黒澤 信之 会長

本年度のRI会長のホルガー・クナーク氏は「ロータリーは機会の扉を開く」とテーマを掲げています。機会を奉仕ととらえれば、奉仕は本来、自発的に利他の精神で行動することですが、苦しいだけの奉仕は長続きしません。まずは自分たちが楽しむことで利他の精神が生まれ延いては超我の奉仕につながってゆくものと思います。会員の皆さんが開けてみたくなる新しい機会(奉仕に限らず)という名の扉をたくさん用意してまいりたいと考えておりますが、会員の皆様にも幅広く意見をお寄せいただきたく存じます。

2530地区ガバナーの石黒秀司氏は、「Participate and Enjoy ROTARY」とテーマを掲げています。Participateとは、広義には参加するということがですが、狭義には進んで関わるということだそうです。

わが福島西ロータリークラブの長所でありモットーは「一致団結」であり、ホルガー・クナークRI会長のテーマと石黒秀司ガバナーのテーマを踏まえ私は今年のスローガンをこう掲げます。「今こそ集い、語らい、楽しもう!! Enjoy 福島西 Rotary」

2020-21年度 福島西ロータリークラブ活動目標



1.例会の活性化と出席率の向上

- ・職業人としての精神的オアシス・絆と笑いがもたらすスピリット道場となるような魅力ある例会の構築を心掛ける。

- ・地区および分区行事について逐次案内し、積極的な参加を促し出席率の向上を図る。

2.クラブ力増強

- ・例会をはじめとする各種行事、事業への出席率向上によりクラブの会員力増強を図る。
- ・一会員一推薦運動を奨励することで意識高揚を促し、純増2名以上の会員数増強を目標とする。

3.地域社会への社会奉仕の実践と認知度の向上

- ・青少年健全育成活動：地区補助金を活用した少年野球大会の実施
- ・薬物乱用防止啓発活動：県北第一分区麻薬撲滅キャンペーン

- ・社会奉仕活動：新型コロナウイルス感染拡大対策にかかわる取り組み

4.ロータリー財団・米山記念奨学会への理解と協力

- ・ロータリー財団：年次基金1人150ドル、ポリオ根絶1人30ドル
- ・米山記念奨学会：年間普通寄付金一人5,000円、特別寄付金一人10,000円

5.ロータリー賞へのチャレンジ

- ・MYROTARYへの登録率向上(現在県北第一分区で最低)

まだまだ勉強中の身ではありますが、これら目標の実践と達成の為、邁進してまいりたいと考えておりますので、幹事をお引き受けいただいた佐藤慶行会員はじめ、役員理事の皆様、福島西ロータリークラブの会員の皆様、小澤陽子事務局員、ご指導・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◇閉会点鐘 黒澤 信之 会長
※会報カメラ担当 根本 いずみ 会員

2020-21年度理事・役員及び委員名簿

役員	会長	黒澤 信之	副会長	高橋 智弘	幹事	寺島 英樹	副幹事	根本 いずみ	監事	高橋 智弘	副監事	高橋 達也
	副会長	高橋 智弘	幹事	寺島 英樹	副幹事	根本 いずみ	監事	高橋 智弘	副監事	高橋 達也	文部	大平 謹一郎
理事	佐藤野尻 卓立(直前幹事)、渡辺 敬藏(職業奉仕)、佐藤 卓立(社会奉仕)、佐藤 宗弘(国際奉仕)、野尻 榮一(青少年奉仕)											
委員会			委員長			小委員会			委員			
戦略計画			齋藤 武二			戦略計画			佐藤 宗弘			
クラブ奉仕			高橋 智弘			会員増強・会員選考・職業分類・ロータリー情報			相澤 隆			
						親睦活動・ロータリー家族			寺島 英樹			
						会報・雑誌・広報・IT			根本 いずみ			
						プログラム・出席・SB			高橋 智弘			
職業奉仕			渡辺 敬藏			職業奉仕			高梨 哲男			
社会奉仕			佐藤 卓立			社会奉仕			梅津 一匡			
国際奉仕			佐藤 宗弘			ロータリー財団			久米 允彦			
						米山記念奨学会			大平 謹一郎			
青少年奉仕			野尻 榮一			青少年奉仕			高橋 達也			
									佐久間 政文			
									新開 文雄			

○ソングリーダー 佐藤 卓立 高橋 智弘

●他RC例会場・例会日

クラブ名	曜日	例会場名	クラブ名	曜日	例会場名
福島RC	木曜日	クーラクーリアンテサンパレス	飯坂RC	木曜日	吉川屋
福島南RC	水曜日	クーラクーリアンテサンパレス	福島北RC	火曜日	クーラクーリアンテサンパレス
福島中央RC	水曜日	ザ・セレクトン福島	福島東RC	金曜日	クーラクーリアンテサンパレス
福島21RC	木曜日 18:30~	クーラクーリアンテサンパレス	福島しんたつRC	月曜日 18:30~	福島県青少年会館